



本村小だより

令和7年1月8日

1月号

東久留米市立本村小学校

校長 永瀬 功二

<http://www.higashikurume-school01.jp/~hon-e/>

Tel 042-474-0404

Fax 042-472-7992

「一人一人を大切に」を合言葉に 本年も「共育」を

校長 永瀬 功二

年が明け、令和7年が始まりました。関東では初日の出が見られた場所も多く、皆様もお健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

学校では本日3学期の始業式を迎え、校舎や校庭に子供たちの元気な声に戻ってきました。今年も職員一同、子供たちのために力を合わせて努めてまいります。

さて、東久留米市では、毎年11月の「人権尊重推進月間」に合わせて、市内の小・中学生から人権尊重に関する標語やポスター、作文を募集しています。本校でも毎年作品を応募していますが、その中から今年度2名の児童の作品が「教育長賞」に選ばれました。

まず、標語部門では5年生の 齋藤 結花子 さんの作品「見ないふり それも、もちろん いじめだよ」が教育長賞を受賞しました。そして、ポスター部門では3年生の 岡澤 琉正 さんの作品「大切にしよう 1人1人の もってる色」が教育長賞を受賞しました。



作品は12月に市役所や東久留米駅のギャラリーに展示され、学校でも2学期の終業式の中で全校児童に紹介しました。作品は学校の来校者玄関に掲示してありますので、ご来校の際にぜひご覧ください。

私は校長として、人権尊重を学校経営方針の柱とし、「一人一人を大切に」を教職員の合言葉としています。そしてそのことを子供たちに分かりやすく、**本村小で大切に**する「あ」と「い」として折に触れて話しています。「あ」は相手を尊重する気持ちを行動に表す「挨拶」と、何より大切な生命の尊重につながる「安全」の2つです。「い」は「いじめをしない・させない」で、「誰かが傷付けられているのを見た時に、自分がどう行動するかが大切」と伝えています。

また、児童の状況を知るために、年間3回の「学校生活アンケート」でいじめに関する項目も毎回質問しています。全校の平均を6月と11月の調査で比較すると、「友だちが嫌なことを言われたりされたりしているのを見た」が43.6%から30.2%に、「友達から嫌なことを言われたりされたりすることがある」は31.8%から22.6%に、それぞれ10%前後減少しました。「言われた、された」と回答した児童には個別に聞き取りを行い、双方の児童への対応と保護者の方への報告、その後の継続した見守りにつなげています。

今年も学校では、一人一人を大切に努めてまいります。保護者・地域の皆様も、お気付きの点はぜひお伝えいただき、「共育」をよろしくお願い申し上げます。